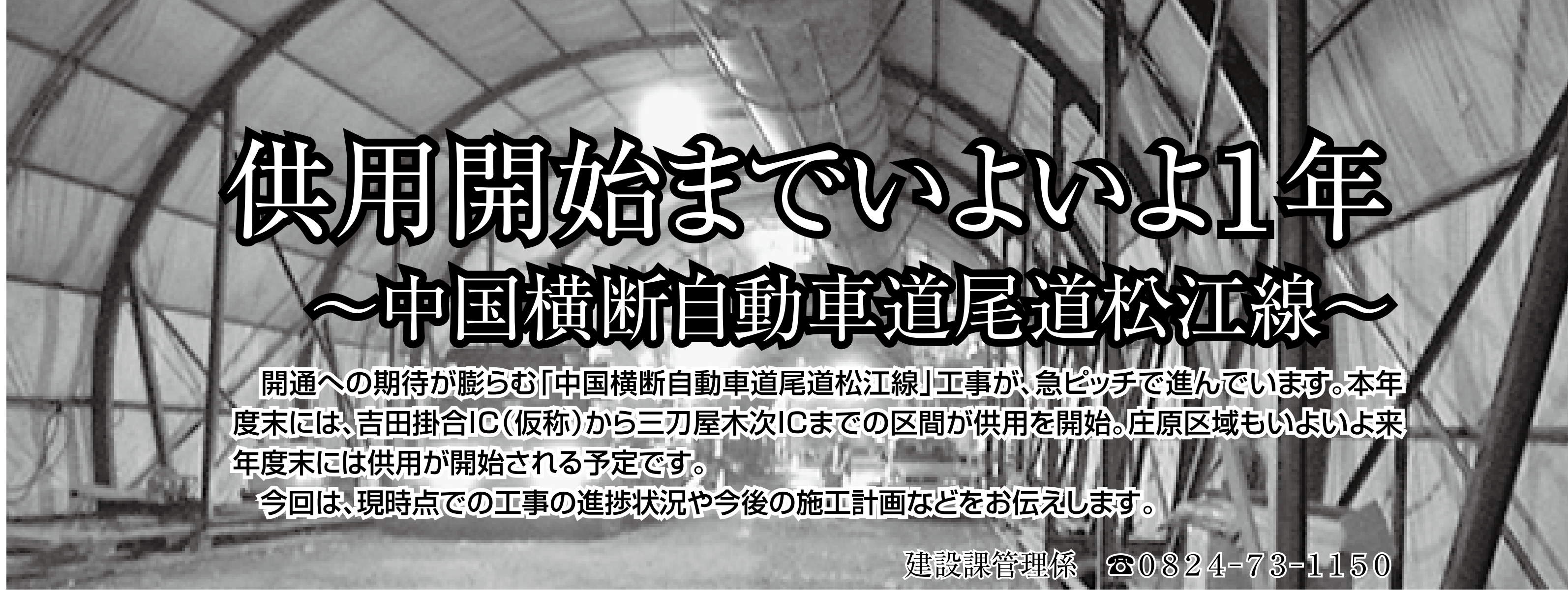
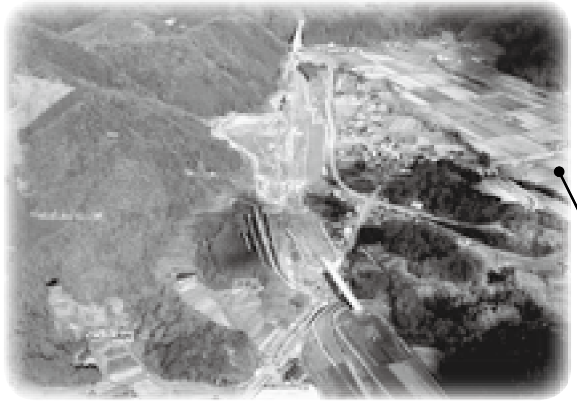


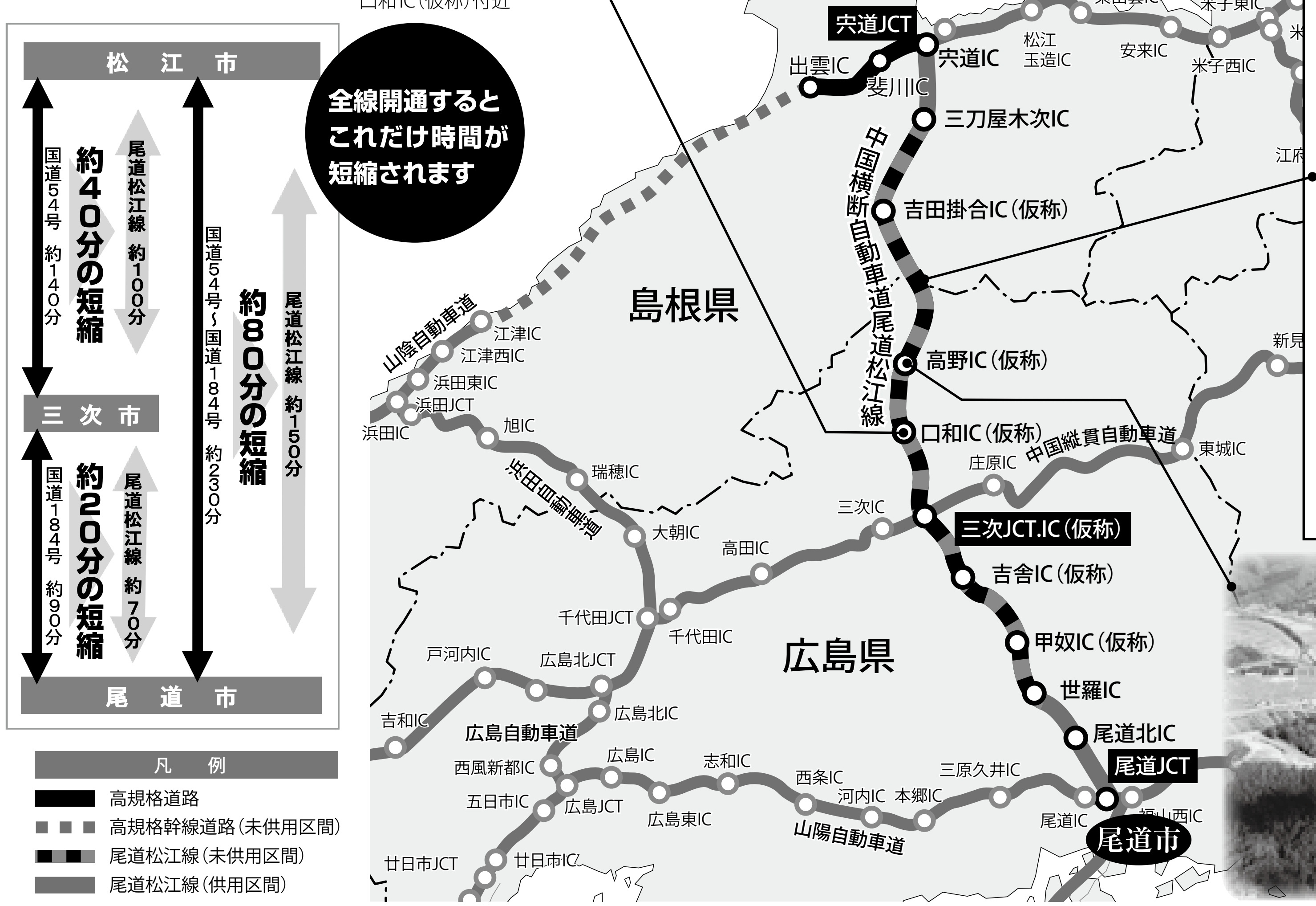
供用開始までいよいよ1年
～中国横断自動車道尾道松江線～

開通への期待が膨らむ「中国横断自動車道尾道松江線」工事が、急ピッチで進んでいます。本年度末には、吉田掛合IC（仮称）から三刀屋木次ICまでの区間が供用を開始。庄原区域もいよいよ来年度末には供用が開始される予定です。
今回は、現時点での工事の進捗状況や今後の施工計画などをお伝えします。

建設課管理係　☎0824-73-1150



口和IC（仮称）付近



中国地方最長の道路トンネル
大万木（おおよろぎ）トンネル（仮称）の本坑が貫通

固い握手を交わす速水雄一雲南市長（左）と滝口季彦庄原市長（右）

広島県・島根県の県境に位置する大万木トンネル（仮称）が貫通した昨年12月19日、これを祝う「貫通式」が行われました。

多くの関係者の出席のもと、広島・島根両県側でそれぞれ「貫通発破点火」を行い、貫通点が清められた後「通り初め」となりました。両県から一人ずつ貫通点中央まで進み、互いに固い握手を交わし出席者の万歳で貫通を喜び合いました。

大万木トンネル（仮称）は、庄原市高野町和南原と島根県雲南市吉田町吉田を結ぶ全長4,878㍍で、完成すれば中国地方最長の道路トンネルとなります。

本坑工事は、島根県側が平成20年12月に、広島県側が平成21年5月にそれぞれ着手し、約3年をかけて貫通しました。

今後は、トンネル完成に向けて舗装、照明、非常用設備などの工事が進められます。

高野IC（仮称）付近

下門田橋（仮称）

重要な役割を果たす幹線道路

中国横断自動車道尾道松江線は、広島県尾道市を起点に三次市・庄原市を経由し、島根県松江市に至る高速自動車道です。

延長137kmのうち、尾道JCTから三刀屋木次IC（島根県雲南市）間約111kmは、新直轄方式（※）として整備され、開通後は無料の区間となります。

本路線は、山陽自動車道・中国縦貫自動車道・山陰自動車道および西瀬戸自動車道と接続することにより、中国・四国地方の広域的な交通ネットワークを形成し、瀬戸内海と日本海を結ぶ幹線道路として、移動・輸送時間の短縮はもとより、沿線地域の産業・経済・文化の交流・発展に重要な役割を果たす目的で計画されています。

また、中国地方を東西に走る山陽自動車道と中国縦貫自動車道の2本の縦貫道と結ばれることで、災害時の代替路や救急患者の搬送路などの役割を担うことにもなり、中山間地域の安心・安全な生活に欠くことのできない幹線道路となります。

※新直轄方式
高速自動車国道を建設するのに、高速道路会社（NEXCO西日本など）によらない国と地方自治体の負担による新たな直轄事業のこと。

用地進捗状況
全線の用地契約率は **99％**（面積ベース）

事業進捗状況
全線の事業進捗率は **約8割**（事業費ベース）

供用区間（H13.3）宍道～松江玉造 L=14km
供用区間（H15.3）三刀屋木次～宍道 L=12km

区間	用地進捗状況	事業進捗状況	
（県境～三刀屋木次IC）	100%	約8割	松江自動車道
（三次JCT～県境）	100%	約7割	
（尾道JCT～三次JCT）	約99%	約8割	尾道自動車道

中国横断自動車道尾道松江線 L=約137km

※平成23年3月末現在

供用開始に向け進む工事

本年度、庄原市管内の事業着手率が100％となり、平成24年度末に予定されている「三次JCT（仮称）～吉田掛合IC（仮称）」間の供用開始に向けて、着実に工事が進められています。また、口和IC（仮称）と高野IC（仮称）が整備され、市の玄関口となります。

高野観光交流ターミナル

尾道松江線は無料の高速道路であるため、道路上にはサービスエリア（SA）やパーキングエリア（PA）は整備されません。

そういった中、高野IC（仮称）付近では、「高野観光交流ターミナル（道の駅）」の整備が進められています。この道の駅はSA・PAとしての役割を担う（道路利用者の休憩や道路情報を発信する）ことはもちろん、庄原の北の玄関口として、来訪者を市内へ誘う観光交流拠点施設として位置付くことになります。現在、具体的な取り組みとして地元住民を中心に協議を進めています。

中国地方の南北を結ぶ幹線道路「尾道松江線」。その工事の槌音が山々に響き渡り、そしてその槌音がやむとき、私たちの夢がまたひとつ現実に。その日が一歩ずつ近づいてきています。